

# 平成19年度 標茶町病院事業会計決算審査意見

## 第1 審査の概要

### 1 審査の対象

平成19年度標茶町病院事業会計決算

### 2 審査の期間

平成20年6月24日

### 3 審査の書類

(1) 決算報告書

(2) 財務諸表

ア 損益計算書

イ 剰余金計算書

ウ 欠損金処理計算書

エ 貸借対照表

(3) 附属書類

ア 事業報告書

イ 収益費用明細書

ウ 固定資産明細書

エ 企業債明細書

### 4 審査の方法

審査にあたっては、送付を受けた決算報告書、財務諸表及び事業報告書等の附属書類について、関係諸帳簿の照合とともに、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績並びに財政状況を適正に表示されているか否か、予算執行の適否等についても内容説明を求め審査を実施した。

## 第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表等は、関係法令に準拠して作成されており、決算の諸計数はいずれも正確であるとともに、平成20年3月31日現在における財政状況及び経営成績を適正に表示されているものと認められた。

財務事務については、総体として適正に執行されたものと認められる。

審査結果の概要は以下のとおりです。

### 1 予算執行状況

本年度の予算執行状況は次表のとおりです。

## (1) 収益的収入及び支出

## 収益的収支の状況

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率		予算額に比べ決算額の増減及び不用額	
			H19年度	H18年度		
収 入	<b>医業収益</b>	618,856,000	(596,423,782) 594,380,969	(96.4) 96.0	(96.4) 96.1	(△22,432,218) △24,475,031
	入院収益	367,600,000	(340,966,849) 340,962,967	(92.8) 92.8	(98.5) 98.5	(△26,633,151) △26,637,033
	外来収益	207,400,000	(209,352,437) 209,302,622	(100.9) 100.9	(94.5) (94.5)	(1,952,437) 1,902,622
	その他医業収益	43,856,000	(46,104,496) 44,115,380	(105.1) 100.6	(89.5) (85.6)	(2,248,496) 259,380
	<b>医業外収益</b>	449,260,000	(436,903,262) 436,482,821	(97.2) 97.2	(95.0) 94.9	(△12,356,738) △12,777,179
	受取利息配当金	5,410,000	(5,440,219) 5,440,219	(100.6) 100.6	(99.9) 99.9	(30,219) 30,219
	他会計補助金	131,481,000	(131,481,000) 131,481,000	(100.0) 100.0	(97.7) 97.7	(0) 0
	他会計負担金	299,109,000	(289,109,000) 289,109,000	(96.7) 96.7	(94.3) 94.3	(△10,000,000) △10,000,000
	患者外給食収益	3,780,000	(2,844,870) 2,709,400	(75.3) 71.7	(87.5) 83.3	(△935,130) △1,070,600
	その他医業外収益	9,480,000	(8,028,173) 7,743,202	(84.7) 81.7	(79.9) 76.9	(△1,451,827) △1,736,798
<b>収入合計</b>	1,068,116,000	(1,033,327,044) 1,030,863,790	(96.7) 96.5	(95.8) 95.6	(△34,788,956) △37,252,210	
支 出	<b>医業費用</b>	1,001,804,000	(954,513,510) 943,525,369	(95.3) 94.2	(95.5) 94.3	(47,290,490) 58,278,631
	給与費	674,990,000	(658,153,925) 657,984,708	(97.5) 97.5	(98.2) 98.1	(16,836,075) 17,005,292
	材料費	106,300,000	(90,780,148) 86,457,283	(85.4) 81.3	(85.0) 81.0	(15,519,852) 19,842,717
	経 費	149,196,000	(137,750,078) 131,386,997	(92.3) 88.1	(91.1) 86.9	(11,445,922) 17,809,003
	減価償却費	64,049,000	(64,047,372) 64,047,372	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(1,628) 1,628
	資産減耗費	590,000	(490,465) 490,465	(83.1) 83.1	(97.2) 97.2	(99,535) 99,535
	研究研修費	6,679,000	(3,291,522) 3,158,544	(49.3) 47.3	(52.5) 50.0	(3,387,478) 3,520,456
	<b>医業外費用</b>	65,812,000	(65,087,456) 74,241,793	(98.9) 112.8	(99.0) 114.0	(724,544) △8,429,793
	支払利息及び企業 債取扱諸費	61,654,000	(61,628,856) 61,628,856	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(25,144) 25,144
	患者外給食材料費	2,826,000	(2,227,000) 2,120,952	(78.8) 75.1	(83.8) 79.8	(599,000) 705,048
	消費税	1,232,000	(1,231,600) 1,231,600	(100.0) 100.0	(92.8) 92.8	(400) 400
	雑損失	100,000	( 0) 9,260,385	(0.0) 9,260.4	(0.0) 10,356.2	(100,000) △9,160,385
	予備費	500,000	—	—	—	(500,000) 500,000
	<b>支出合計</b>	1,068,116,000	(1,019,600,966) 1,017,767,162	(95.5) 95.3	(95.7) 95.6	(48,515,034) 50,348,838
	<b>(差引額) 当年度純利益</b>	—	(13,726,078) 13,096,628	—	—	—

&lt;注&gt;：上段（ ）内の数値並びに割合は消費税込みの金額

本年度の予算執行状況は、収入においては予算額 1,068,116,000 円に対し、決算額は 1,033,327,044 円、執行率 96.7%で、予算額に対し差引 34,788,956 円の減となっている。

支出については予算額 1,068,116,000 円に対し、決算額は 1,019,600,966 円で、執行率は 95.5%である。

不用額 48,535,034 円の内訳は、医業費用では職員給与費、患者減少による材料費、経費等の減額で 47,290,490 円、医業外費用が 724,544 円、予備費は 500,000 円となっている。

## (2) 資本的収入及び支出

収入においては、予算額 20,000 円に対し決算額は 0 円である。

支出については、予算額 85,892,000 円に対し、決算額は 85,779,726 円で執行率は 99.9%である。支出額に対し収入額が 85,779,726 円不足しているが、この不足額は、過年度分損益勘定留保資金 85,779,726 円で補填されている。

支出の内容は、建設改良費 388,500 円 企業債償還金が 78,535,686 円 その他固定負債償還金 6,855,540 円となっている。

### 資本的収支の状況

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率		予算に比べ決算額の増減及び不用額
			H19 年度	H18 年度	
収入	20,000	(0)	(0.0)	(0.0)	(△20,000)
		0	0.0	0.0	△20,000
資本的収入合計	20,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(△20,000) △20,000
支出	500,000	(388,500)	(77.7)	(—)	(111,500)
		370,000	74.0	—	130,000
	78,536,000	(78,535,686) 78,535,686	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(314) 314
その他固定負債償還金	6,856,000	(6,855,540) 6,855,540	(100.0) 100.0	(—) —	(460) 460
資本的支出合計	85,892,000	(85,779,726) 85,761,226	(99.9) 99.8	(100.0) 100.0	(112,274) 130,774
差引額	—	(△85,779,726) △85,761,226	—	—	—

<注>：上段（ ）内の数値は消費税込みの金額

### (3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第17条に規定する、予算に係る主な事項の執行状況は次のとおりである。

ア 起債の利率及び償還の方法は、予算に定められた範囲で執行されている。

なお、本年度において企業債は発行されていない。

イ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費は、職員給与費 674,990,000 円、交際費 1,500,000 円であるが、いずれも予算の範囲内で執行されている。

ウ 他会計からの繰入金

一般会計から補助、負担をうける予算金額 430,590,000 円に対し、決算額は 420,590,000 円で、いずれも予算の範囲内で執行されている。

## 2 経営状況

### (1) 経営成績

損益計算書に示されているとおり（記述並びに図表の数値は消費税抜きの金額で表示しています。）本年度の総収益は 1,030,863,790 円、総費用が 1,017,767,162 円で、純利益 13,096,628 円を計上している。

収益、費用を前年度と比較すると、総収益で 18,915,721 円の増、総費用も 5,982,911 円の増となり、純利益は前年度に比較し 12,932,810 円の増である。医業収支で見ると収益 594,380,969 円に対し費用は 943,525,369 円であり、差引 349,144,400 円の医業収益の不足となる。

当年度末処理欠損金は前年度末繰越欠損金に本年度純利益が加算され 86,987,471 円となった。

なお、経営成績及び主な利益指標の推移は次のとおりである。

#### 経営成績の推移

(単位：円・%)

区 分	平成 19 年度	平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度	平成 15 年度
総収益	1,030,863,790	1,011,948,069	1,010,003,499	1,018,575,562	1,062,612,564
うち医業収益	594,380,969	588,454,342	612,822,211	655,962,584	695,484,294
総費用	1,017,767,162	1,011,784,251	1,009,624,886	1,018,294,547	1,062,337,957
うち医業費用	943,525,369	933,870,479	929,212,536	935,960,867	976,630,062
当年度純利益	13,096,628	163,818	378,613	281,015	274,607
前年度繰越欠損金	100,084,099	100,247,917	100,626,530	100,907,545	101,182,152
当年度末処理欠損金	86,987,471	100,084,099	100,247,917	100,626,530	100,907,545
経常収支比率	101.3	100.0	100.0	100.0	100.0
医業収支比率	63.0	63.0	66.0	70.1	71.2

(数値は消費税抜き)

## (2) 業務量（患者数）の状況

患者数は、入院患者で年間延べ 15,299 人、1 日平均 41.8 人で前年度と比較すると 1,179 人減少し、外来患者数は年間 41,251 人で 1 日平均 169.1 人、前年度と比較すると 300 人の増加となっている。

患者一人当たりの診療収入は、入院患者が 22,287 円で前年度と比較すると 1,554 円増、外来患者は 5,074 円で前年度と比較すると 8 円増であった。

### ア 診療日数

(単位：日)

区 分	平成 19 年度 (A)	平成 18 年度 (B)	差引 (A) - (B)
入 院	3 6 6	3 6 5	1
外 来	2 4 4	2 4 4	0

### イ 入院患者数

(単位：人)

区 分	平成 19 年度 (A)		平成 18 年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均
内 科	13,178	36.0	14,191	38.9	△1,013	△2.9
外 科	1,734	4.7	1,838	5.0	△104	△0.3
産婦人科	387	1.1	449	1.2	△62	△0.1
合 計	15,299	41.8	16,478	45.1	△1,179	△3.3

### ウ 病床の利用状況

\*病床は全て一般病床

区 分	平成 19 年度	平成 18 年度	比 較
病床数 (床)	85	85	0
年間延病床数 (床)	31,110	31,025	85
年間患者数 (人)	15,299	16,478	△1,179
病床利用率 (%)	49.2	53.1	△3.9

### エ 外来患者数

(単位：人)

区 分	平成 19 年度 (A)		平成 18 年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均
内 科	26,016	106.6	25,728	105.4	288	1.2
外 科	10,855	44.5	11,072	45.4	△217	△0.9
産婦人科	2,910	11.9	2,469	10.1	441	1.8
小 児 科	1,470	6.1	1,682	6.9	△212	△0.8
合 計	41,251	169.1	40,951	167.8	300	1.3

### オ 患者一人 1 日当り診療報酬

(単位：円)

区 分	平成 19 年度 (A)	平成 18 年度 (B)	差引 (A) - (B)
入 院	22,287	20,733	1,554
外 来	5,074	5,066	8

### (3) 収益

本年度の総収益は、1,030,863,790 円で、前年度（1,011,948,069 円）に比較すると 18,915,721 円の増加となった。

内容は、医業収益が 594,380,969 円で前年度（588,454,342 円）に比し 5,926,627 円増となった。入院患者は減少したが、患者一人当りの診療報酬の増により入院収益が微減にとどまり、一方、外来患者の微増、個室利用、健康診断受診件数の増加などが収益増の要因となった。

医業外収益 436,482,821 円は、前年度（423,493,727 円）に比し 12,989,094 円増加となったが、これは主に貸付金の受取利息並びに、他会計負担金が増となったものである。

#### 収益の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成 19 年度(A)		平成 18 年度(B)		差引(A)-(B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年比
医業収益	594,380,969	57.7	588,454,342	58.2	5,926,627	101.0
入院収益	340,962,967	33.1	341,635,121	33.8	△672,154	99.8
外来収益	209,302,622	20.3	207,463,958	20.5	1,838,664	100.9
その他医業収益	44,115,380	4.3	39,355,263	3.9	4,760,117	112.1
医業外収益	436,482,821	42.3	423,493,727	41.8	12,989,094	103.1
受取利息配当金	5,440,219	0.5	4,205,983	0.4	1,234,236	129.3
他会計補助金	131,481,000	12.8	130,882,000	12.9	599,000	100.5
他会計負担金	289,109,000	28.0	277,717,000	27.5	11,392,000	104.1
患者外給食収益	2,709,400	0.3	3,150,543	0.3	△441,143	86.0
その他医業外収益	7,743,202	0.7	7,538,201	0.7	205,001	102.7
総収益	1,030,863,790	100.0	1,011,948,069	100.0	18,915,721	101.9

(数値は消費税抜き)

### (4) 費用

総費用は、1,017,767,162 円で、前年度（1,011,784,251 円）に比較して 5,982,911 円の増加となった。

内容は、医業費用が 943,525,369 円で前年度（933,870,479 円）に比し、9,654,890 円の増となっているが、患者が減少したことなどのより材料費が抑えられているが、給与費が 12,304,411 円増加したことなどが主なものである。

医業外費用は、74,241,793 円で前年度（77,913,772 円）に比し 3,671,979 円の減少となったが、これは主に企業債支払利息の減少などによるものである。

## 費用の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成 19 年度 (A)		平成 18 年度 (B)		差 引 (A) - (B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年比
医業費用	943,525,369	92.7	933,870,479	92.3	9,654,890	101.0
給与費	657,984,708	64.6	645,680,297	63.7	12,304,411	101.9
材料費	86,457,283	8.5	90,664,178	9.0	△4,206,895	95.4
経 費	131,386,997	12.9	130,326,976	12.9	1,060,021	100.8
減価償却費	64,047,372	6.3	62,627,376	6.2	1,419,996	102.3
資産減耗費	490,465	0.1	1,783,000	0.2	△1,292,535	27.5
研究研修費	3,158,544	0.3	2,788,652	0.3	369,892	113.3
医業外費用	74,241,793	7.3	77,913,772	7.7	△3,671,979	95.3
支払利息及び企業 債取扱諸費	61,628,856	6.1	64,079,152	6.4	△2,450,296	96.2
患者外給食材料費	2,120,952	0.2	2,353,333	0.2	△232,381	90.1
消費税	1,231,600	0.1	1,125,100	0.1	106,500	109.5
雑損失	9,260,385	0.9	10,356,187	1.0	△1,095,802	89.4
総費用	1,017,767,162	100.0	1,011,784,251	100.0	5,982,911	100.6

(数値は消費税抜き)

### 3 財 政 状 況

貸借対照表に示されている資産、負債、資本の内容は次のとおりである。(記述の数値は消費税抜きで表示しています。)

#### <資産>

本年度の資産総額は、2,877,303,980 円で、前年度(2,947,154,152 円)に比し 69,850,172 円減少した。

総資産のうち有形固定資産は、土地、建物、構築物、機械・備品、車両で 2,148,255,105 円、前年度(2,200,203,942 円)と比較して 51,948,837 円の減少である。無形固定資産は電話加入権 388,032 円、投資は、一般会計への長期貸付金 500,000,000 円で、固定資産の合計額は 2,648,643,137 円となった。

流動資産の合計は 228,660,843 円で、前年度(246,562,178 円)に比し 17,901,335 円の減少である。この内容は主に現金・預金が 22,753,870 円減少し、未収金が 4,792,099 円増えたことによるものである。

なお、当年度において患者医療費未収金の不納欠損処分による債権消滅は無い。

#### <負債>

負債合計70,615,258 円は、前年度(75,026,372 円)に比し 4,411,114 円の減となっている。固定負債として、債務負担行為による医療機器の更新により 5,974,410 円が増加している。流動負債のうち、未払金は 32,205,951 円で、前年度(43,374,074 円)に比し 11,168,123 円の減となっている。

## ＜資本＞

資本金は、自己資本金が 900,387,743 円、借入資本金（企業債未償還残高）が 1,727,956,450 円で合計 2,628,344,193 円となっており、前年度(2,706,879,879 円)に比し 78,535,686 円の減である。

剰余金は、資本剰余金で 265,332,000 円と前年度同額である。

欠損金は、86,987,471 円で前年度（100,084,099 円）に比し 13,096,628 円の減、剰余金合計 178,344,529 円となり、当年度末の資本合計は 2,806,688,722 円で前年度（2,872,127,780 円）に比し 65,439,058 円の減となった。

## むすび

以上、予算執行、経営状況、財政状況にわたる計数の表示と所見も述べてまいりましたが、総括して次のとおり審査結果意見を申し上げます。

平成 19 年度病院事業は、町民の健康保持に必要な医療を提供するため、内科、外科、産婦人科、小児科、リハビリテーション科により、その経営にあたっている。

当年度の業務量は、入院延患者数 15,299 人（前年度 16,478 人）、外来延患者数 41,251 人（前年度 40,951 人）で、入院、外来とも合わせて前年度比較で延べ 879 人の減少となった。

これらに従事する職員は平成 20 年 3 月 31 日現在 83 名（内 21 名は嘱託、非常勤・臨時職員）で、前年度比較で職員が 1 名増員、臨時職員が 2 名増員となった。

経営成績は、総収益 1,030,863,790 円、総費用 1,017,767,162 円の決算額となり、これを医業収支でみると、医業収益は 594,380,969 円、医業費用が 943,525,369 円で、差引 349,144,400 円費用が収益を上回っているが、一般会計からの補助金と負担金 420,590,000 円を主なものとする医業外収益によって差引純利益 13,096,628 円が計上された。当年度純利益 13,096,628 円は前年度繰越欠損金に充てられたが、年度末未処理欠損金は 86,987,471 円であり、引き続き医業収支の改善が必要となっている。また、入院料など長期の未収金額があることから、解消に向け適切な対応を講じられたい。

このように、入院、外来とも年々患者数が減少傾向にある状況で、医業収益に占める職員給与費の比率が、当年度は 110.3 パーセントと、前年比 0.6 パーセントの増であり年々増加傾向にある。また、医業収益に占める他会計繰入金比率も、当年度は 70.5 パーセント（前年比 1.1 パーセントの増）であり、同様に年々増加傾向にある。地方交付税の先行きが不透明ななかで町財政も逼迫し、一般会計からの繰出による依存体質からの脱却が課題であります。

平成 19 年 12 月には、総務省から「公立病院改革ガイドライン（指針）」が示され、



また、北海道はこれを先取りする形で平成 19 年 10 月に「自治体病院等広域化・連携構想（素案）」を出した。「経営効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」の 3 点セットにより、町立病院の診療所化を含めた規模の適正化が求められ、病院を持つ道内の自治体に波紋を広げました。

特に、病床利用率が過去 3 年連続して 70 パーセント未満である病院については、病床数の削減、診療所化等の抜本的な見直しが迫られており、町立病院の病床利用率は、平成 15 年度は 69.2 パーセントであったが年々減少し、平成 19 年度は 49.2 パーセント(前年度比 3.9 パーセントの減)であります。

これまで、現在の診療体制を維持するための積極的な要請活動や、患者との信頼関係の確立・サービス向上に努められるとともに、効率・効果的な職員体制の検討など積極的な取り組みがなされ、健康診断受診件数などの増による医業収益の前年度比 1 パーセントの増収や、町広報紙での病院特集、各種会合等での状況報告など積極的な経営改善に向けた努力は評価されます。

町立病院は、公立病院改革ガイドラインにより、平成 20 年度内に公立病院改革プランの策定が求められており、病院をとりまく環境は、厳しい経営運営を強いられることになると思われます。

今後も、町内唯一の医療機関として、住民の命と健康と暮らしを守る、最も身近な医療機関としての期待は大きいことから、これからの病院のあり方を具体的に住民に示し、住民の期待に適切に対応できるよう努め、一層の経営健全化を推進されることを望みます。